

連合会だより

第1号:平成30年(2018年)■■月■■日
発行:出雲市認可保育所(園)保護者会連合会
事務局:きんろう保育園

出雲市認可保育所(園)保護者会連合会
加盟園:43園 園児数:4564名(平成30年5月現在)

平成30年度 出雲市認可保育所(園) 保護者会連合会総会開催

平成30年5月9日(水)に、第1回の理事会が行われました。各保育所(園)の保護者を代表し、多くの理事にお集まりいただきました。その中で、本年度の新役員が紹介されました。そして、5月15日(火)に、保護者会連合会の総会が開催されました。当日は来賓の出雲市子ども未来部課長 坂本 伸仁様、出雲市認可保育所(園)理事長会会長 原 成充様、出雲市保育協議会会長 西 郁郎様の3名をお迎えし、開会の祝辞をいただきました。その後、理事及び評議員162名に対して、109名(内、委任状50名)の参加により、無事に総会を開催することができました。

“新”会長挨拶

本日は、皆様のご協力により、このような盛大な総会を開催することができましたことを、先ずもって御礼申し上げます。私は先ほどご承認をいただきました、今年度、保護者会連合会の会長を務めさせていただきます、きんろう保育園の橋崎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私も役員をするまでは、本会が、どのような活動をし、そして、どういった面で存続する意義があるのか、全くわかりませんでした。しかし、役員として運営に携わるにつれ、本会の本当の意味での重要性を知ることができました。その一つとして、本会の最も重要な活動の中に、陳情活動があります。ご出席の皆様もご存じの方は、多いと思いますが、毎年、各保護者の皆様へ子育て環境整備についてのアンケートを実施し、それを基に、出雲市へは要望書を、出雲市議会へは陳情書を提出しております。いずれその子ども達が親となり、この出雲の地で、よりよい環境で子育てできるよう、我々、保護者会連合会が、市政に対し、訴えかけることこそ、この会の存在意義があるのではないのでしょうか。

皆様にお願いがございます。本保護者会連合会は、保護者の皆様ひとりひとりが構成員であります。もっともこの団体の存在意義を考えていただきたいと思っております。各保育所(園)の保護者会の場合や先生方へも、「保護者会連合会って、こんな活動をしているんだ」といったことを伝えていただきたい。そうすることによって、保護者会連合会のことを知っていただくきっかけにも繋がると考えております。また、執行部も今までの年3回の連合会だよりの発行、理事会の議事録の配布に加え、本年度から広報の在り方を見直し、保護者会連合会の理解を深めていただくため、各保護者の皆様を対象にチラシの配布や各保育所(園)への掲示用ポスターの配布も検討しております。

これから、我々執行部もより参加しやすい連合会を目指すため、皆様とともに考え、さらなる改革、そして邁進していきたいと考えておりますので、どうかご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。簡単ではございますが、これで私からの挨拶に代えさせていただきます。本日はご多忙のところご出席いただき、誠にありがとうございました。

“新”執行部紹介



☆会長【総括】

橋崎 智弥(きんろう保育園)

☆副会長【総括】

坂根 壮一郎(出雲聖園マリア園)

☆監事【研修・レクリエーション】

守谷 圭佑(出雲乳児保育所)

☆監事【広報・記録】

玉野 英敬(神門第Ⅱ保育園)

“出雲市認可保育所(園)保護者会連合会” ～ 活動内容 ～

① 陳情活動

保育制度や保育環境の充実化を図るために、出雲市、出雲市議会へ要望及び陳情を行う。

② 研修活動・レクリエーション(綱引き) ※隔年開催

研修活動:子育てや保育に関する悩みや不安を共有、解決するため、講師等を招いて研修を実施する。

レクリエーション:保育所(園)相互及び保護者同士の親睦を図る目的で開催。

③ 広報活動・記録

連合会の活動について保護者の皆様に理解を深めていただくために、連合会の行事を取材し、連合会だよりを発行する。

今年度は、より多くの方に連合会について知っていただくために、ポスター、チラシを作成し配布、掲示を予定。



～お知らせ～

●今年「医大通店GoodDayグディー」で行われている地域活動団体への支援を申し込みました。6月1日～7月31日のカ月間、レシートを保護者会連合会のボックスへいれていただくと、レシート合計金額(税抜き)の0.5%(2万円上限)が支援資金として、連合会に寄付されます。医大通店でお買い物の際、レシートを入れていただくことが可能な方は、どうぞご協力をお願いします。

●8月に予定している陳情活動に向けたアンケートのご協力ありがとうございました、皆様からのご意見を基により良い活動にしたいと思います。

連合会だより

第2号:平成30年(2018年)■月■日
発行:出雲市認可保育所(園)保護者会連合会
事務局:きんろう保育園
出雲市認可保育所(園)保護者会連合会
加盟園:43園 園児数:4564名(平成30年5月現在)

研修「お医者さんに学ぶ 元気な子どもの育て方」を実施しました

6月30日(日)に「保育所における感染症の対応」というテーマで、医療法人社団 芦沢医院 院長 芦沢隆夫先生に講演いただきました。

講演に先立ち、出雲市在住のギターリスト“長田ツグ”様に、多くの皆様が聞いたことのある曲を演奏いただき、リラックスしたとても良い雰囲気の中で講演に進むことができました。



講演では、芦沢先生から「予防接種の副反応をメディアが大きく報道すること、特に任意予防接種は費用が高額で負担が大きいことが、予防接種が敬遠される要因の一つとなっていること」、「接種後の発熱は、体が病原体の抗体を作る際に発する反応なので、過度の心配は不要」とお話がありました。また、「予防接種は病気の症状が軽くなるほか、麻疹・風疹・おたふくかぜ・インフルエンザなどの伝染病の爆発的な感染を防ぐ効果もあるため、積極的に接種して欲しい」とも仰っておられました。

永田トシツグ氏によるギター演奏



当連合会では、今年度も出雲市及び出雲市議会へ任意予防接種の公費助成についての要望・陳情しましたが、出雲医師会でも出雲市に対し同様の要望を行われたとのことでした。

今後は任意予防接種の公費助成が実現するよう、出雲医師会等と連携しながら訴え続けていきたいと思っております。

「出雲市長への要望」と「出雲市議会への陳情」を提出しました

出雲市認可保育所(園)の保護者の皆様にご協力いただいたアンケートを基に作成した要望書と陳情書を8月1日(水)に出雲市役所にて、出雲市長と出雲市議会に提出いたしました。

出雲市長・出雲市議会への提出 要望項目と陳情項目

1. 子どもの医療費の負担軽減に関する要望
2. 任意予防接種費用(インフルエンザ、おたふくかぜ、ロタウイルス)の公費助成を求める要望
3. 多子保育家庭の同一保育施設優先入所制度構築の要望
4. 夜間・休日診療の充実に関する要望
5. 病児・病後児保育施設の充実に関する要望



出雲市長へ提出



出雲市議会へ提出

要望書・陳情書の提出を終えて

本年度の要望・陳情活動につきまして、保護者の皆様、各理事の皆様及び保育所(園)のご協力をいただき、無事に終えることができ、改めて皆様のご理解、ご協力に大変感謝しております。

市長と川上副議長(議長不在の為)へは、皆様からいただいた大切なご意見も含め、保育の当事者としての現状や改善要望について我々執行部からお伝えしました。両者からは市の財政面や現在の取り組みへの説明なども頂く中で、早急な対応は困難であるとの印象を受けましたが、趣旨についてはご理解いただけたと感じております。今回の要望や陳情の結果如何にかかわらず、訴え続けることが市政を動かす力となると信じております。

今年度は、陳情の内容とその結果を保護者の皆様方全員と共有すべく、冊子にまとめて、おひとりおひとりに配布する計画です。これにより、皆様方にこの陳情活動への認識を深めていただき、来年度以降への糧としていきたいと願っております。少しずつではありますが、要望・陳情活動発展のため、我々執行部といたしましても精一杯努力していく所存でございますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

副会長 坂根壮一郎(聖園マリア園)